



本郷台小 だより

1月 辰

横浜市立本郷台小学校
令和6年1月9日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ： <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

「みんなが主役」の学校に ～50周年を迎える年に寄せて～

校長 原 南実子

深い悲しみの中で幕開けした令和6年。元日に発生した能登半島地震においてお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。行方不明の方も多数いらっしゃる、心が張り裂ける思いです。一日も早い救出を願うばかりです。被災地に救援物資を運ぶ自衛隊の方々や命を落とされた羽田空港での衝突事故も心痛む悲しいニュースでした。映像を見るにつけ、日航機に乗っていた乗客乗員全員が無事だったことはまさに奇跡的で、日頃の訓練や乗客の皆さんの落ち着いた行動が奇跡を生み出したものと心震える思いでニュースを見ておりました。

さて、本郷台小学校は今年11月に創立50周年を迎えます。右の写真は、昨年11月の創立記念式の時に6年生が書いてくれたものです。カラーコピーをして各教室や廊下に貼り、皆で49周年を祝いました。絵の中に「安心な場所!」「農園がある!」という言葉が添えてあります。日々安心して自己発揮し、友達とともに安心して過ごせる学校であること、そして、地域の方々とかかわりながら野菜を種から育て、収穫し、皆でおいしい野菜を味わう経験を1年生から6年生まで毎年行うことができる台小農園があること、この2つを!マーク付きでかいてくれています。この絵を見た2年生はこんな手紙を届けてくれました。『本郷台小 11月11日、49歳のおたんじょう日おめでとう!わたしは本郷台小学校が大すきだよ。もっと先の話だけど、5・6年生になったらソーラン節ががんばるね!』この手紙には、花ボラの皆さんが子ども達の気持ちが明るく元気になりますように、という思いで手入れをしてくださっている花壇の絵が添えられていました。これらを見ながら、私は、自分が通っている学校が好きなこと、楽しい学校を自分達で創っていきたいこと、1年生から6年生までのつながりの中で、上級生の姿を見ながら自分もあんなふうになりたいというあこがれや願いをもてること、自分たちに関わってくれる方々の温かさを嬉しい学びにつなげていること、そんな子ども達の気持ちを見る思いでした。



50周年は大きな節目の年です。半世紀にわたり、脈々と受け継がれてきた本郷台小学校の伝統。一日一歩の歩みとその伝統を作り、子どもを育ててきました。日々子どもたちの姿から、言葉から、その伝統は、今ここで学んでいる子ども達の心の中に息づいている、そう感じます。今年の運動会のスローガンにあった「みんなが主役」という言葉。今年も本郷台小学校の主役は子ども達一人ひとりです。一人ひとりを尊重し、一人ひとりが安心して自己発揮できるようにすること、そしてそれをベースに、友達と学び合いながら、協働して新たな学びを創っていきけるようにしていくこと。今年もそうした教育活動を教職員が一丸となって進めていき、50年の伝統を受け継ぎ、未来に渡す、そんな節目の年を創っていく年にしていきたいと思っております。

本郷台小学校が子ども達一人ひとりの「ふるさと」として刻まれ、教職員、保護者の皆様、地域の皆様とともに、台小で学び、学んできた子どもたちの未来への育ちを喜び合える50周年の年を創っていくことができますよう、今年もご支援とご協力をどうぞよろしく願いいたします。

今年一年、子ども達、保護者の皆様、地域の皆様が、明るく、健やかに、幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。